

小平市教育委員会議事録（甲）

—— 1 月 定 例 会 ——

令和6年1月18日（木）

開 催 日 時 令和6年1月18日（木） 午後2時00分～午後4時30分

開 催 場 所 505会議室

出 席 委 員 青木由美子 教育長  
三町章 教育長職務代理者  
青木雅代 委員  
望月克浩 委員  
吉本一謙 委員

説明のための出席者 白倉克彦 教育部長  
岡崎奈緒子 教育指導担当部長兼指導課長  
安部幸一郎 地域学習担当部長  
竹中敏明 教育総務課長  
後藤信章 施設更新担当課長  
飯島健一 学務課長  
高橋恵一 教育施策推進担当課長  
細村英男 地域学習支援課長  
季高一成 中央公民館長  
利光良平 中央図書館長  
山本真由美 教育総務課長補佐  
吉田将人 指導課長補佐  
松田弦 指導主事  
坊本朋久 指導主事

書 記 山本真由美 教育総務課長補佐、長江陽一 教育総務課主任  
傍 聴 者 2名

午後2時00分 開会

（開会宣言）

○青木教育長

ただいまから教育委員会1月定例会を開会いたします。

（署名委員）

○青木教育長

はじめに、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は吉本委員及び私、青木でございます。

次に、非公開にて取り扱う議題を決定したいと存じます。

本日の議題のうち、事務局報告事項（４）から（６）まで、及び議案第２９号から第３２号までは、人事案件または個人のプライバシーを含んだ内容でございますので、非公開で取り扱いたいと存じます。

お諮りいたします。

ただいま申し上げた議題について、非公開にて取り扱うことに賛成の方は、挙手願います。

—賛成者挙手—

### ○青木教育長

挙手全員でございますので、非公開と決定いたしました。

それでは、本日の議題に入ります。

### （事務局報告事項）

### ○青木教育長

はじめに、事務局報告事項を行います。

（１）小平市立学校の感染症等による臨時休業措置状況について、説明をお願いいたします。

### ○白倉教育部長

事務局報告事項（１）小平市立学校の感染症等による臨時休業措置状況についてを報告いたします。

資料No.1をご覧ください。

令和6年1月16日火曜日現在の市内公立小・中学校の臨時休業の状況でございますが、小学校が延べ142学級、中学校は延べ63学級で、今月新たに報告するものは、No.144の1件でございます。

引き続き、各学校に情報提供するとともに、感染症対策に努めてまいります。

### ○青木教育長

次に、（２）令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果の概要について、説明をお願いいたします。

### ○岡崎教育指導担当部長

事務局報告事項（２）令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果の概要についてを報告いたします。

資料No.2をご覧ください。

本調査の目的は、東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・

分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することでございます。

調査の対象は、小学校第1学年から中学校第3学年の児童・生徒でございます。特別支援学級の児童・生徒につきましては、児童・生徒の実態に合わせて実施するものとなっております。

別紙1をご覧ください。

1ページは男子の結果、2ページは女子の結果を記載しております。

なお、マイナスの表記がある数値は、都の平均値を下回っていることを示しています。

小学校男子では、全ての学年において、②の上体起こし、⑤の20メートルシャトルラン及び⑥の50メートル走の数値が都の平均を上回っております。小学校女子では、全ての学年において、⑤の20メートルシャトルラン、⑥の50メートル走及び⑧のソフトボール投げの数値が都の平均を上回っております。

中学校男子では、全ての学年において、⑤の持久走の数値が都の平均を大きく上回っております。中学校女子では、全ての学年において、②の上体起こし、④の反復横跳び、⑤の持久走、⑥の50メートル走及び⑦の立ち幅跳びの数値が都の平均を上回っております。

別紙2をご覧ください。

令和5年度の結果と過去4回の結果を比較しますと、小・中学校の男女ともに20メートルシャトルラン・持久走の数値が最も低い結果となりました。また、小学校の女子は、ほとんどの種目で最も低い結果となっております。

次に、児童・生徒の生活・運動習慣等の調査結果でございます。

別紙3をご覧ください。

項番1の運動実施状況の令和5年度の結果を示した右の表をご覧ください。下線は令和4年度の結果を上回っている、網かけは東京都の結果を上回っているものです。ほとんど毎日運動すると回答した児童・生徒の割合が、小・中学校の多くの学年において、都の平均を上回っております。

また、項番2の運動の好き嫌いでは、運動が好きと回答した児童・生徒の割合は、令和4年度と比較すると、男子の全て、女子もほとんどの学年で増加しております。一方で、都の結果と比較すると、小学校第1学年から3学年及び中学校第3学年では男女とも下回っております。

教育委員会事務局といたしましては、本調査結果から課題を2点あると捉えております。1点は、反復横跳びの結果から、体力の構成要素である敏捷性の向上を図る取組が必要であること、2点として運動実施状況においてほとんど毎日運動すると回答した割合は、令和4年度に比べ増加傾向であるものの運動しないと回答している割合も増加していることから、運動の二極化に歯止めをかける施策が必要であると捉えております。

課題に対する取組といたしましては、本市の調査結果及び課題について周知をするとともに、体育科、保健体育科の授業において「体づくり運動」を始めとした敏捷性を高めるための運動を、意図的・計画的に行うよう教育委員会事務局より校長会議及び副校長連絡会において、管理職に

働きかけてまいります。また、運動の日常化を図るための「楽しみながら運動プログラム」や、市内の各校における取組事例、例えば、業間体育の実施例や外遊びの励行に向けた取組事例等について、各学校に共有してまいります。さらに各学校では、児童・生徒自身の体力の現状や成長の過程を視覚的に把握できる「私たちの体力」に中学校卒業まで記録をするとともに、授業や学級指導など、あらゆる機会を捉えて、児童・生徒が主体的に振り返られるようにしてまいります。

#### ○青木教育長

次に、（３）小平市教育委員会後援名義等の使用承認について、説明をお願いいたします。

#### ○白倉教育部長

事務局報告事項（３）小平市教育委員会後援名義等の使用承認についてを報告いたします。

今回報告いたします承認事業は、資料No.3のとおりでございます。

詳細につきましては、竹中教育総務課長から説明させます。

#### ○竹中教育総務課長

本日報告いたしますのは、９件でございます。

うち、新規申請は３件ございまして、受付番号（６３）「学力アップのための視覚認知トレーニング」親子セミナーです。一般社団法人視覚認知教育協会が主催する事業でございます。事業内容は、３月２０日水曜日、２３日土曜日、２５日月曜日、３１日日曜日に、武蔵野公会堂、国分寺市立いずみホール、国分寺市立c o c o b u n j i プラザにおいて、小学２年生から４年生までの児童、及びその保護者を対象に、視覚認知トレーニングを実演し、参加者の皆様に体験していただくというものでございます。経費の徴収はございません。

続きまして、受付番号（６５）２０２４関東空手道選手権大会です。世界全極真東京清水道場が主催する事業でございます。事業内容は、３月２４日日曜日、小平市民総合体育館において、青少年健全育成事業の一環として、また、空手界における流派、会派を超えて、地域を超えて人的交流と切磋琢磨し合い、レベルアップを図るために年１回、定期的に開催するというものです。選手出場料として、選手１名につき、ファーストマッチ、初級については、６，０００円、上級については、７，０００円の徴収がございます。

続きまして、受付番号（６９）「おみせやさんごっこ」はたらくってなーにです。キッズマネースクールリバー校が主催する事業です。事業内容は、１月２８日日曜日に小平市中央公民館において、小学生親子を対象とした、お金の授業、おみせやさんごっこ、保護者のためのお金の授業などの、金銭教育を行うというものです。経費の徴収はございません。

その他の６件は、例年、承認しているものでございます。

#### ○青木教育長

ここまでの事務局報告事項につきまして、ご質問、ご意見等がございますでしょうか。

## ○吉本委員

意見です。2番の事務局報告事項、児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果概要についての別紙1、体力・運動能力調査結果、東京都との比較について、岡崎教育指導担当部長が説明してくださったのですが、私が見た中で、やはり持久力の項目であるシャトルラン、持久力というのは、都に比べて高い能力をもっているのだなと思いました。学校訪問に伺った際に、小学校の先生たちが中休みは外で遊ぶように促してくれていたりと、中学校で持久走にチャレンジしていたりといった各学校で教員の方たちが取り組んでくれているのを目にしましたし、お聞きしたので、すごく感謝申し上げます。

そんな中、別紙2で小平市の児童・生徒たちの過去5年間のデータを見ると、中学校女子が昨年よりいい結果が出ていると言っている、過去2番目に低い数字です。それ以外は過去5年で一番低いという結果が出ていて、まだまだコロナ禍の影響が続いていると感じました。

別紙3において、私自身が一番大事、数値より大事だと思っていますが、運動の好き嫌いといったところで、運動が好きと回答した児童・生徒が、ほとんどの学年で令和4年を上回っていたので、これはすごくうれしかったです。先ほど二極化が課題と岡崎教育指導担当部長がおっしゃっていましたが、好きになっていけば自然と体を動かす機会も増えていくと思うので、令和5年より令和6年が運動が好きと答える子たちが多くなるように、一緒に取組や協力をさせていただきたいと思っています。引き続きよろしく申し上げます。

## ○青木教育長

ご意見ということで、分かりました。

他、いかがでしょうか。

## ○青木委員

私も資料No.2の児童・生徒の体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果の概要について、意見させていただきたいと思います。やはりこの小・中学校で、身に付けた体力や運動する習慣というのは、生涯健康に過ごせる時間を延ばすことにつながると思います。運動が好き嫌いとはありましたが、この期間に、運動が好きになるとか、運動の習慣を身に付けるなど、そうしたことをしっかり身に付けさせるような指導を、ぜひ、これからも続けていただきたいと思います。先ほどの説明の中に、楽しみながら体を動かすとあり、また、休み時間はなるべく外遊びをさせる、といった事例を学校訪問でもたくさん見させていただきましたし、研究授業の報告でも見させていただいております。ぜひ、そういう事例をより多くの学校で実行できるよう、伝えていただきたいと思います。

子どもたちは、今まではコロナ禍で外に出るはいけないとか、友達と接触してはいけないと言われていて、運動する機会、外遊びをする機会が少なかったと思います。今年度、そういう縛りがなくなって、動けば好きになっていくという結果も出ておりますので、ぜひこの後、体を動かす習慣を身に付け、運動しないから嫌いという感じにならないような指導をお願いします。

先日、学校訪問のときに、ボールにひもをつけてボール投げをしていました。こんなふうには飛ばすとより遠くへ飛ぶといった工夫を可視化して、自分でもできるんだ、こうすれば少し伸びるんだというのが分かっていけば、子どもたちは、より好きになったり、よりチャレンジしたりするようになると思います。そのような事例をより多くの学校に伝え、小さいうちから運動する習慣を身に付けさせてほしいと思います。意見です。

#### ○青木教育長

良い事例や指導の工夫を横展開していくということですね。それは事務局のほうでも取り組みたいと思います。

他、いかがでしょうか。

#### ○望月委員

体力測定の中で、資料を拝見させていただく限りにおいて、差があったところといっても、誤差という感じになっています。これを見て、何か分かるかと言われてしまうと、正直なところなかなか分かりにくいです。しかし、学校ごとになると、差が出てきたりする部分があるのではないかと思います。すごくよくできている学校があれば、その学校がどんなことをしているのか。逆に取組ができていない、差が開いている学校に、できているところを紹介していただけないかと思います。持久走は全体的にいいということがあったとしても、うちはできているので別に関係ないという話になりかねないので、突出してできているところはどこなのかといったところも合わせて見ていただいて、共有していただけると、よりよいのではないかと思います。ぜひ、そのようなところを見ていただきたいと思います。

もう1点気になることですが、運動の好き嫌いのところで、中学生の部門で、令和5年度、4年度にも比較して、中学3年生に関しては、全般的にやや嫌いといった回答が結構増えていると感じております。もしこれが全体的な話なのであれば、何か、懸念される点やお気づきの点があれば、教えていただきたいと思います。

#### ○青木教育長

学校ごとについてはご意見ですね。各校の差があるかどうか、各校のデータがあるかどうか。もう1点は、嫌い、やや嫌いの要因になるものでよろしいですか。

いかがでしょうか。

#### ○松田指導主事

1点目ですが、学校ごとのデータはいただいております、お見込みのとおり差はあるという現状でございますので、この結果のみならず、取組としてどういったことを行っていくかというところは、指導課から各学校にヒアリング等を行いまして、それを広げていきたいと考えております。

2点目の運動のやや嫌い、嫌いというところで、先ほど課題を挙げさせていただきましたが、運動することが好きか嫌いかにに関して、高学年ぐらいから多くなってくるという傾向はございます。または、運動の好き嫌いの中では、知ることでしたりとか、支えること、見るということ、そういった観点での好き嫌いというところの調査はしておりますので、ここではお示ししていませんけれども、そういった観点からも、運動に関しての興味関心を高めていくというところの点では、今後も対応し、対策していきたいと考えております。

**○青木教育長**

他、いかがでしょうか。

**○三町教育長職務代理者**

同じく（2）です。各学校でやった結果をデータ処理して、最終的にはこういう形で報告をいただいているのだと思うのですが、どういう形でデータが来ているのかを教えてください。各学校の学年の平均がどれくらいなのかといったものか、平均と実際の数値が出てくるのか。私が知りたいのは、こういう平均よりも、子どもたち個々の能力の分布です。そういうデータも返ってきているのか、単にデータ処理された平均だけなのか、教えていただきたいと思います。

**○松田指導主事**

東京都からの実施要項によりますと、まず、児童・生徒に関しましては、区市町村の平均値と自身の結果は学校から配付することになっております。各学校には、都全体の平均値と区市町村の平均値、また各学校の全体値、学年別、男女別、調査項目別の調査結果等について配付されております。こちらはCD-Rでデータとして配付されております。

区市町村におきましても、各学校と同様のものをいただいておりますので、事務局は各学校のデータを全て保有しております。

**○三町教育長職務代理者**

各データは、個というよりは、ある学校の学年の平均ということでしょうか。それに対して、A君はこうだったという形で見られるだけという感じなのでしょうか。

**○松田指導主事**

都からいただいているものは、その一覧でございますので、分布や、有意差というところはなく、あくまで平均値でございます。

**○三町教育長職務代理者**

残念だと思います。全体的にある程度の力が付いているのか、あるいは個人差が非常に大きくて、全体はいいが、非常に運動能力が劣っている子たちの集団が多いなど、焦点を考えていかな



いと、平均では正直いって議論しても意味がないと私は思っています。先ほど、反復横跳びの数値が低いからそこだけを重点に取り組むと報告を受けましたが、きちんと分析されていると感じないです。あくまでも平均は1つの代表値であって、今回のこのデータでは本質的に中を見る数字ではないと強く感じるので、データで来ているのであれば、もう一回やり直して、例えば、学校別でもいいですし、学校ごとの分布や学年別の分布を出していただければいいと思います。そうすると、報告文も学校への教育委員会としての分析の提示の仕方も変わるのではないかと思いますので、可能ならばぜひ検討していただきたいと思います。

#### ○松田指導主事

いただいたご意見を参考に研究させていただければと思います。体力合計点の分布でしたり、そういう合計点の場合は、AからEまでのアルファベットでの表示になりますので、そういったところでまとめられるというところ、種目はなかなか困難なところもあるかと思いますが、こちらとしても把握できるところはしていきたいと思います。

#### ○青木教育長

他、いかがでしょうか。

では、以上で、事務局報告事項を終了いたします。

#### (協議事項)

#### ○青木教育長

次に、協議事項を行います。

(1) 令和5年度小平市教育委員会表彰について、説明をお願いいたします。

#### ○白倉教育部長

協議事項(1) 令和5年度小平市教育委員会表彰についてを説明いたします。

資料No.7をご覧ください。

小平市教育委員会では、小平市の教育及び文化の振興発展に貢献し、かつ、その功績が顕著なもの及び他の模範と認められる行為を行ったものに対し、表彰しており、年2回表彰式を行っております。

今回の表彰は、小平市立学校に在学する児童・生徒、又はこれらの者で構成する団体に対するものでございます。

対象となりますのは、小平市教育委員会表彰等に関する規程第2条第1号に該当する40名1団体でございます。

詳細につきましては、資料をご覧くださいと存じます。

**○青木教育長**

このことにつきまして、ご質問、ご意見をいただきたいと存じますが、被表彰候補者一覧は個人情報を含んだ非公開資料となりますので、ここでは表彰理由など、概要について何かございましたらお願いいたします。

**○三町教育長職務代理者**

いろいろ大会名があつて、類推すると大体分かるのですが、少し分かりにくいものがあります。18番にブルグミュラーコンクールというのがあります。主催が何なのかということと、11月、12月とあるような大会だということがよく分からないのです。全国規模、あるいは関東規模の音楽のコンクールが同じ団体で毎月あるというのが理解しにくいものですから、分かる範囲で教えてください。

**○青木教育長**

東京大会と書いてありますが、これについて。

**○三町教育長職務代理者**

この表で言うと18、19です。

**○青木教育長**

11月、12月のコンクールですね。

**○三町教育長職務代理者**

そうです。ブルグミュラーコンクールの主催と、なぜ11月ファイナルと12月ファイナルがあるのか。

**○青木教育長**

規模や内容かと。

**○三町教育長職務代理者**

規模などがよく分かりません。金賞、銀賞は素晴らしいので、それはいいのですが、この一覧だけでは流れが理解できないので、まず、それを理解したいです。

**○竹中教育総務課長**

こちらのコンクールですが、全21地区で行う予選がありまして、西東京地区代表としての出場、その後に全21地区の代表者が行うファイナルステージというのがございます。それによって、金賞、銀賞、銅賞、奨励賞という賞が付与されるという事業でございます。

主催については、こちらの表にございますブルグミュラーコンクール東京大会実行委員会となります。

**○青木教育長**

ご指摘では、11月、12月となっておりますが、その辺りはどうですかということだと思えます。

**○山本教育総務課長補佐**

全国でいろいろな地区で行われていますが、東京の場合は2回、それぞれ別の大会として、この主催団体が行っています。それ以外にも、神奈川県や、北陸大会などがあり、全国を13ブロックに分けて大会をやっている中で、おそらく同じ名前ではできないということだと思えますが、11月大会と12月大会として、それぞれ別の大会として開催されているものです。

**○三町教育長職務代理者**

ありがとうございました。

**○青木教育長**

他、いかがでしょうか。概要等について。

－「なし」の声あり－

**○青木教育長**

それでは、被表彰候補者一覧につきましてのご質問、ご意見は、非公開の会議にて取り扱うことといたしまして、表彰の概要につきましては、提案どおり了解ということで、ご異議ございませんか。

－「異議なし」の声あり－

**○青木教育長**

次に、(2)第5次小平市子ども読書活動推進計画策定の基本方針について、説明をお願いいたします。

**○安部地域学習担当部長**

協議事項(2)第5次小平市子ども読書活動推進計画策定の基本方針についてを説明いたします。

資料No.8をご覧ください。

本件は、現行の第4次小平市子ども読書活動推進計画の計画期間が、令和6年度末で終了することから、令和7年度以降の次期計画を策定するための基本方針を定めるものでございます。

詳細につきましては、利光中央図書館長から説明させます。

## ○利光中央図書館長

それでは、詳細をご説明いたします。

小平市教育委員会では、子どもたちの読書活動を推進するため、現行計画として第4次小平市子ども読書活動推進計画を策定しております。

この現行計画につきましては、令和6年度末で計画期間が終了することから、現行計画の成果や課題、社会情勢の変化等を検証した上で、令和7年度以降の次期計画の策定に向けて、第5次小平市子ども読書活動推進計画策定の基本方針を取りまとめたものでございます。

上位計画の第二次小平市教育振興基本計画においても、基本的施策1 確かな学力の向上の中で、主な取組として、学校図書館の活用推進や読書活動の推進を挙げているほか、基本的施策8 家庭教育への支援でも主な取組として、家庭における読書活動の推進を挙げています。

2の計画の位置付けといたしましては、子どもの読書活動の推進に関する法律の条項の規程に基づき策定をするものでございます。

計画の策定にあたっては、小平市第四次長期総合計画及び第二次小平市教育振興基本計画等の上位計画及び関連する個別計画等との整合性を図っていくこととしております。

3の計画対象期間につきましては、令和7年度から令和11年度までの5年間といたします。

4の計画策定の体制でございますが、1点目として、図書館条例に基づき設置しております図書館協議会において、意見を聴取いたします。

2点目といたしまして、市民からの意見・要望の収集を行います。計画策定の素案の段階において、市民意見公募手続（パブリックコメント手続）を実施し、広く意見募集を行ってまいります。

3点目としまして、庁内体制等の確保として、庁内関係課で組織する小平市子ども読書活動推進計画庁内検討会議において、策定内容の調整を図ります。

5の計画策定上の留意事項でございますが、市議会等への報告につきましては、策定作業の進捗状況を、必要に応じて適宜、市議会及び教育委員会に対して報告いたします。情報の公開といたしましては、図書館協議会は公開とし、会議録及び資料等につきましては、終了後速やかに小平市ホームページ等により公表いたします。

6の実態調査の実施についてでございますが、令和5年度中に、子どもの読書環境等を把握するためアンケート調査を実施し、計画策定のための基礎資料といたします。

このアンケート調査は、市内の一部の幼稚園や保育園の未就学児の保護者や、市立全小・中学校の児童・生徒、市内一部高等学校の生徒を対象に実施する予定でございます。

市内の小・中学校等の児童・生徒へのアンケートにつきましては、児童・生徒に配付しております学習者用端末を介して、全児童・生徒を対象として実施する予定でございます。その他の

方々へのアンケートも二次元コードを活用して、スマホなどの端末から回答していただき、集計事務も手作業を介さずに行う予定でございます。

7の計画策定スケジュールにつきましては、表にお示ししたとおりでございます。

#### ○青木教育長

このことにつきまして、ご質問、ご意見等、ございますでしょうか。

#### ○青木委員

意見と質問をさせていただきます。子どもの読書活動というのは、多くの作品の中で美しい言葉に触れたり、情景を思い浮かべて、またその心情を考えたりするということで、子どもたちの世界を広げて、心を育む本当に大切なものだと思います。市内には多くの図書館もありますし、学校図書館も大変充実してきていると思っておりますので、よりよい活用ができるような計画の策定を望みます。

1つ質問ですが、裏面6番の実態調査の実施ということで、令和5年度中ということは、このアンケートは割と早い段階に行うということかと思えます。基本的施策8家庭教育への支援で、家庭における読書活動の推進とあるのですが、この調査の対象者が未就学児の保護者と子どもたちで、小・中学生の保護者は対象になっていないような気がします。その方々への調査はされないのでしょうか。

#### ○利光中央図書館長

アンケート実施の時期につきましては、令和6年2月から3月にかけて実施をしていく予定でおります。

対象の方でございますが、未就学児につきましては、ご本人は回答することが難しいため、保護者の方を対象とさせていただいておりますが、小学校の児童につきましては、アンケートそのものも全て振り仮名を振り、平易な言葉を使うようにする予定で、児童ご本人に回答していただくことを予定しております。学習者用端末をご自宅に持ち帰っていただいて、保護者の方と一緒に回答していただくことも想定しております。

#### ○青木教育長

少し趣旨が違います。家庭教育の支援ということで保護者へのアンケートはないのですかということですか。

#### ○利光中央図書館長

家庭教育への支援ということではございますが、保護者の方を対象としたアンケートは今回、特に行う予定はありません。

### ○青木委員

今回のアンケートの対象に、小・中学生の保護者はないということですが、やはり小学生ですと、家庭での読み聞かせであったり、保護者と協力しながら子どもの読書活動を進めていくという部分もあると思います。アンケートを取らないにしても、やはり、保護者への周知というのか、読書活動の協力のお願いというのか、策定する計画の中には何かそういうものをしっかり入れていっていただけるといいと思います。

### ○青木教育長

ご意見ということでよろしいですか。

### ○青木委員

はい。

### ○三町教育長職務代理者

進め方については、このままきちんと進めていただければいいだろうと受け止めています。

文書についてですが、策定上の留意点で、市議会の報告として、必要に応じて市議会に対して報告すると書いています。しかし、言葉では、市議会及び教育委員会にも説明されたと思います。項目が市議会の報告と書かれており、教育委員会の報告というのは出てこないです。今日と11月定例会で報告するという文になっていますが、先ほどの説明では、必要に応じて適宜、市議会と教育委員会にという言葉を使いました。我々に対しては、このスケジュールでいえば、基本的に定例で、次は素案の段階での報告、最後に出来上がったもので報告という流れになっています。口頭説明と違うので、文書上ではっきりしたほうがいいと思います。

### ○利光中央図書館長

失礼いたしました。教育委員会の報告につきましては、こちらの表にあるとおりで予定をしており、何か特別な事情がない限りはこの表のとおりということで、予定をしております。

### ○三町教育長職務代理者

口頭では、必要に応じて適宜、市議会と教育委員会に報告するというお話だったのです。必要に応じて適宜と文書で書かれるのであれば、この1月から11月の中でも、適宜、教育委員会にも報告すると明記しておいていただかなければならないのではないかとということです。これは方針ですから、言葉では説明したが、文書に書かれていないというのはおかしいので、整理していただきたいと思います。

### ○利光中央図書館長

書面上は記載してございませんが、計画そのものにつきましては、教育委員会が策定をするも

のでございますので、口頭で説明させていただいたということでございます。

**○青木教育長**

お話しされたことが正しいのか、表が正しいのか、どちらかということです。

今、お話しされたことと、書いてあることが違いますというご指摘だと思います。

**○安部地域学習担当部長**

基本方針は、市の定型的な様式で作成しており、市議会への報告という項目を記載することになっております。先ほど利光館長が申し上げましたとおり、教育委員会で策定する計画でございますので、教育委員会で報告するのは当然でございます。ここであえて記載をするものではないという判断です。しかしながら、スケジュールの表には、どの時点で教育委員会に報告するかということをつかりやすく示すために記載をしたということでございます。

**○青木教育長**

この文章のとおりということによろしいですね。

**○三町教育長職務代理者**

結構です。もし、この予定以外のところで、必要に応じて適宜、市議会に報告するようなことがあれば、必ずこちらに報告してください。ぜひ、お願いします。

**○青木教育長**

他にいかがでしょうか。

－「なし」の声あり－

**○青木教育長**

それでは、このことにつきまして、提案どおり了解ということで、ご異議ございませんか。

－「異議なし」の声あり－

**○青木教育長**

以上で、協議事項を終了いたします。

以上で、冒頭に非公開で決定したものを除く議題は終了いたしました。これ以降の議事は非公開にて取り扱いますので、関係者以外の方は、ご退席願います。

ここで、休憩といたします。15時10分まで休憩します。

午後2時49分 休憩